

ファミリー向け
分譲住宅の価格が1億円!?

単身世帯の家賃が
月平均10万円超え!?

高すぎる家賃に悲鳴！

都は家賃補助と都営住宅の新增設に踏み出せ

住宅価格の高騰で、23区の新築マンションは平均1億円を超え、平均年収の13倍に。賃貸住宅は単身世帯向けの家賃が月平均10万円超、ファミリー向けは21万円超に。一方で、投機目的のタワーマンションが増えるなど、都の住宅無策ぶりが都民生活を圧迫しています。

Q 都が掲げた住宅政策 アフォードブル住宅って？

A 子育て世帯などが低廉な家賃で住める手頃（アフォードブル）な住宅をとの主旨だそうです。民間任せで、報道によると現在の供給戸数はたったの80戸程度の想定。これでは焼け石に水です。低家賃の公共住宅も都営住宅も不足しているのに都は26年間、一戸も都営住宅を増設していません。



Q 共産党の住宅政策は？

A 【家賃補助と低家賃住宅の提供】

- 1 100万世帯に月1万円の家賃補助
- 2 住宅供給公社の公営住宅など所得に応じた家賃で住める「東京型社会住宅」を10年間で5万戸建設

3年間の
緊急策

【都営住宅の3点セット政策】

- 1 都営住宅の新規建設
- 2 建て替え時の増設
- 3 借り上げ都営住宅の活用

都営住宅への申し込み人数
のべ**13.6万人**(2023年)

募集戸数
1.7万戸

ぜんぜん
足りない!

「住まいは人権」の立場から、土地価格を高騰させる大型開発やマンションへの投機を規制するルールをつくりま。

家賃値上げ問題

原純子の都政相談より

この間寄せられた相談をQ&Aで、紹介します。

Q 地域の団体活動の、お祭りや防災訓練・講習会などに補助が出ますか？

A 「東京都・地域の底力発展事業助成」で、地域の取り組みに1/2の補助が出ます（初回は10/10）。上限は20万円です。条件があれば、ぜひご活用ください。



Q 給食費無償化を契機に、義務教育の完全無償化を実現してほしいです。

A そのとおりですね。江戸川区では、これまで保護者が購入していた学用品の一部（算数セット、粘土板、国語辞典、彫刻刀など）が新年度から公費購入に、新一年生には防災ヘルメットを公費配布することになりました。一歩前進です。



くらしのことなど、
まずはご相談ください。
日本共産党都議団
03(5320)7270



日本共産党
都議団

通信

都議会控室／東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL:03-5320-7270
事務所／東京都江戸川区西一之江4-16-15
TEL/FAX:03-3674-2243



原純子
はら じゅんこ



江戸川区内に特別支援学校の新設を発表！

よりよい教育環境とくらしの支援へ

江戸川区内に特別支援学校の新設が発表されました！私は、2年前に特別支援学校の教室不足の実態をとりあげ、今年2月の本会議でも東部地域での学校新設を重ねて要望し、今回の前進を切り拓きました。さらなる教育環境の改善と都民のくらしを支える都政の実現へ、力を尽くします。

本会議・一般質問 2/28 より

都立鹿本学園の深刻な教室不足の解消を

鹿本学園の在籍児童・生徒数は増加し、この2年間で5クラス増え108学級に。新年度はさらに増える見込みです。

原 純子 都議 子どもたちの教育環境を悪化させる教室の間仕切りや転用は、緊急対応に限定を。すでに限界を超えているのでは。

教育長 知的障害のある児童や生徒が特別支援学校に通学するニーズが増える中、受入れのできる施設を確保するとりくみを進めることは重要。

原 純子 都議 在籍児童・生徒数の増加傾向に対応し、一刻も早い特別支援学校の増設を求める。

教育長 良好な教育環境の確保に向けて、新設や増改築等に関し、特別支援教育の新たな計画に盛り込む。

都立特別支援学校の転用教室と間仕切り教室数(都内合計)

	2020年	2022年	2024年
転用教室数	345	389	457
間仕切り教室数	176	177	212

保護者の願いが、都教育庁を動かしました

都教育庁は新たな「特別支援教育推進計画」で、江戸川区下鎌田地区に知的障害部門小・中学部の学校新設を発表。2032年以降の開校です。鹿本学園では同校敷地内に仮校舎を増築し、教室を確保する予定です。どの子にも行き届いた教育を実現させましょう。

2025年度予算

今回前進したもの

- 第1子から保育料無償化が実現!2025年9月開始(予定)
- シルバーパス購入費が2万510円から1万2000円に約4割負担軽減(2025年10月更新時から実施予定)
- 小中学校のスクールカウンセラーの配置拡大71億円
- 避難所整備・災害時トイレ確保等区市町村支援10億円
- 民間病院の医療確保緊急支援321億円 など

日本共産党都議団 予算組み替えを提案

都の新年度予算は、史上最高の17.8兆円。なのに物価高騰対策は予算総額のわずか0.9%。再開発やプロジェクトマップ、巨大噴水など、無駄な予算を削減し、都民のための予算を増額する145項目の組み替えを提案しました。以下、抜粋。

- 国保料・後期高齢者保険料引下げ、子どもの均等割ゼロ
- 修学旅行、制服、学用品への支援、通学定期代補助、中学校での35人学級実施
- 中小企業の賃上げ支援、公契約条例の検討会設置
- 福祉労働者の賃上げ、介護事業所支援
- 特養老人ホーム等の整備の加速
- 児童育成手当と障害者福祉手当の増額
- 非正規の学校教職員の正規化
- 文化芸術団体・アーティストの稽古場等への支援
- 「東京都平和祈念館」建設準備
- 商店街の耐震化と街路灯電気代補助
- 気候都民会議の開催、学校教室の断熱改修補助

(住宅政策提案は最終面に)

本提案は、自民・都民ファ・公明等により否決されましたが、引き続き、要求実現のためにがんばります。



▲予算組み
替え詳細



被爆80年 知事は非核平和都市宣言を

私は2月28日の都議会一般質問で、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協や江戸川区の被爆者らの思いを正面から小池都知事にぶつけ、非核平和を世界に発信する東京への転換を迫りました。



広島で被爆体験を語る山本宏さん

01 被爆者が身を削って伝えてくれる被爆体験の継承を

特に心を込めて訴えたのは、江戸川に住む87歳の被爆者の山本宏さんの思いです。

山本さんは7歳の時に広島で被爆し、後頭部や右ひじに大やけどを負い、多くの学友を亡くしました。そんなつらい被爆の記憶を、後世のためにと小中学生に語る活動を続けています。しかし、「体験を語った夜は、恐怖がよみがえり悪夢にうなされる」そうです。それでもなお、語りに出かける山本さん。

私は「被爆体験を継承することが私たちの使命では」と知事に問いかけ、核兵器禁止条約締約国会議への知事の参加や職員の派遣を求め、首都・東京で今こそ非核平和都市宣言を行うよう迫りました。

02 知事、非核平和都市宣言は拒否

小池知事は「原爆の記憶を人類共通の記憶として次世代に語り継いでいくことは、今を生きる私たちの重要な使命」と答弁しながら、国の安全保障に関わる問題だとして非核平和都市宣言は拒否。`塩対応、ならぬ`塩答弁、に終始しました。



非核平和都市宣言をしていない都道府県は5つのみ

全国47都道府県の中で、非核平和都市宣言をしていないのは、東京都、青森県、栃木県、新潟県、岐阜県の5つだけです。

03 平和を作る努力こそ

知事がミサイル攻撃への対処強化を打ち出したことについて「今やらなければならないのは戦争の準備ではなく、平和をつくる努力だ」と指摘。被爆体験を伝える写真や絵、証言ビデオを都庁舎などで常設展示することや、地域でとりくまれる原爆展などへの支援を提案しました。

また、被爆者の命とくらしをサポートする東友会（東京の被爆者の会）が担う、被爆者健康指導、相談事業などの都の委託事業を今後も維持・継続し、被爆者や被爆二世の願いに応える制度の充実を求めました。



東友会

東京の被爆者は3557人、平均年齢は85.3歳。被爆二世は8830人、平均年齢は61.4歳です（2024年3月現在）。東友会は、1958年の設立以来、被爆者に寄り添い、都の委託を受けて被爆者の健康やくらしの相談にのっています。

東友会へ寄せられた相談実績（直近）2023年度11,771件
被爆者援護関係7503、被爆二世関係2962、患者健康735、社会福祉法200、施設あっせん182、その他



証言を綴った「鳩になって」



親江会

江戸川区の原爆被害者の会「親江会」は、昨年、被爆証言DVDを作成し区内図書館に配布。今年は証言集「鳩になって」第6集の編集作業にとりくんでおり、今夏には丸木美術館所蔵の「原爆の絵」出張展示を準備しています。

高額な火葬料に規制を

私は23区の火葬料が高額な問題を取り上げ、火葬場（23区）9カ所中6カ所を運営する株式会社が火葬料をこの3年半で1.5倍に値上げしたことを指摘。都は「火葬場の指導監督の権限は区にある」との答弁に終始しましたが、広域自治体である都が役割を果たし、火葬料の「あり方検討会」を持つことを求めました。



江戸川区の戦争展での原爆模型展示

● 東京都の被爆者援護の主な経緯

- 1962年 被爆者健康指導事業（医療費助成、各種手当の周知）、相談事業を東友会へ委託
- 1975年 東京都被爆者援護条例可決（被爆者援護法成立は1995年）
- 1976年 被爆二世へ医療費助成を実施
- 1997年 都庁舎などで原爆展開催（その後2009年から2015年まで開催）
- 2013年 都主催で、葛飾区立青戸平和公園にて原爆犠牲者追悼式典を開き、毎年開催



都立瑞江葬儀所（江戸川区）

PEACE